



# 三輪(白樺学園)初制覇 男子1000

【男子1000】1分15秒91のタイムで優勝した三輪選手

最終周で強さを発揮した三輪選手は、新たなスタートに三輪

「絶対いい年になるな。胸を躍らせて迎えた開幕戦の全日本距離別選手権は結果が出なかった。すっかり気落ちし「スケートが面白くなかった」と投げやりになったこともあったという。

それから1カ月半が過ぎ、迎えた高校の祭典で、ようやく気持ちが盛り上がった。得意の1000メートルだけは「負けたくない」と力が湧いてきた。同走の1年生の追撃を楽に振り切った。最後は足まで動いた。ようやく(夏の)成果が出てきたかな。これが今季の新たなスタートになればいいな」と笑顔をちらりとのぞかせた。

<道高校選手権> 【男子】▽1000m

日本高校記録	加藤 唯志 (山形中央)	1分10秒67										
道高校記録	小原 唯志 (白樺学園)	1分10秒80										
大会記録	中村 駿佑 (駒大苫小牧)	1分13秒99										
リンク記録	小原 唯志 (日本電産サンキョー)	1分12秒69										
①三輪 準也 (白樺学園)		1分15秒91										
②近藤 太郎 (駒大苫小牧)		1分15秒99										
③藤野 裕人 (標茶)		1分16秒23										
④長谷川 翼 (白樺学園)		1分16秒33										
⑤中村 隼人 (駒大苫小牧)		1分16秒59										
⑥関井 翔太 (帯南商)		1分16秒73										
⑦小坂龍 (白樺学園)	1・17・82⑧後藤卓也 (帯農)	1・18・11⑨金野樹 (池田)	1・18・39⑩今野明星 (同)	1・18・64⑪佐藤裕太 (帯農)	1・18・86⑫居城和樹 (帯南商)	1・19・12⑬山澤諒 (池田)	1・19・47⑭中山航 (帯三条)	1・20・15⑮西恭平 (帯農)	1・20・25⑯佐藤健 (帯南商)	1・21・60⑰河瀬拓思 (帯大谷)	1・24・09⑱米田豪秀 (東海大四一札幌舞中、愛国小)	1・25・30

【女子】▽1000m

日本高校記録	高木 美帆 (帯南商)	1分17秒46									
道高校記録	高木 美帆 (帯南商)	1分17秒46									
大会記録	押切美沙紀 (駒大苫小牧)	1分20秒75									
リンク記録	吉井小百合 (日本電産サンキョー)	1分18秒90									
①高木 美帆 (帯南商)		1分22秒16									
②高山 梨沙 (駒大苫小牧)		1分23秒83									
③橋井 佑奈 (駒大苫小牧)		1分25秒66									
④太田 風紗 (帯南商)		1分25秒88									
⑤桜井 萌美 (白樺学園)		1分25秒98									
⑥山根 佳子 (帯柏葉)		1分26秒15									
⑦辻本有沙 (白樺学園)	1・26・50⑧米田光希 (同)	1・27・49⑨漆川柊菜 (帯南商)	1・28・05⑩澤田芽依 (帯三条)	1・28・13⑪按田心 (同)	1・28・81⑫磯綾香 (帯工)	1・30・29⑬富田和佳菜 (帯農)	1・31・28⑭田中みさと (同)	1・31・97⑮佐々木七海 (帯三条)	1・34・13⑯藤本優羽 (本別)	1・36・60⑰齊藤胡桃 (池田)	1・38・38

<国体道予選> 【男子】▽1000m

①萩野 達哉 (白樺学園)	1分16秒32											
②池田 崇将 (白樺学園)	1・16・53											
③戸田 真也 (白樺学園)	1・18・64											
④松田 知記 (池田)	1・18・85											
⑤森本 拓也 (池田)	1・20・14											
⑥宗宮 紘汰 (白樺学園)	1・20・32											
⑦小野塚健二郎 (同)	1・20・55⑧戸田亮太 (同)	1・21・02⑨佐々木梁之 (同)	1・21・32⑩廣川恵斗 (帯農)	1・21・74⑪渡邊真人 (白樺学園)	1・21・76⑫宇佐見裕太 (帯農)	1・22・25⑬前田貴大 (同)	1・23・26⑭松本博矢 (同)	1・24・24⑮阿部皓平 (池田)	1・25・81⑯阿部啓吾 (帯農)	1・25・89⑰鎌田誠真 (同)	1・26・72⑱吉田良太 (同)	1・32・23

【女子】▽1000m

①匂坂 桃子 (帯南商)	1分30秒39
②佐々木結衣 (駒大苫小牧)	1・32・93

▽3000m

①長屋 千夏 (駒大苫小牧)	4分42秒14・出場1人
----------------	--------------



【女子1000】高木美帆は圧倒的な強さを発揮して優勝した

# 女子1000 高木 帯南商 貫禄

スピード スケート 道高校選手権 国体道予選

【苫小牧】第64回道高校スケート選手権兼国体道予選(道高体連など主催)は21日、ハイランドスポーツセンターでスピードスケートを行い、初出場の高木美帆(帯南商2年)が女子1000mで1分22秒16で2位以下に大差をつけ初優勝した。男子1000mは三輪準也(白樺学園3年)が最終周で強さを発揮し、初制覇した。女子3000mは高橋菜那(白樺学園3年)の2位が管内勢の最高位。優勝は高山梨沙(駒大苫小牧3年)。(岡部彰広、折原徹也)

フォーム戻せず高山に完敗喫す 3000準V・高橋

【女子3000】堅実にラップを刻み2位入賞を果した高橋菜那

取り戻せず、1度も納得のレースができていない。今回も不安を抱えたまま臨み「気付けばあと一周になって終わってしまった。梨沙には完全に負けた。」コーナー入り口、出口の1歩を直線の伸びに生かし、さらに力を使わずに進む滑走法にもトライしているがまだまだだ。「インタハイまで時間がないので焦りつつも頑張りたい」と言葉を振り絞るようにして決意を述べた。

連戦の疲れも仲間の声援で吹き飛んだ。高木美帆にとって最初で最後の出場になるかもしれない高体連のレース。「基本的にこういう大会はわくわくするっていうのが大好き」。直後に控

える全日本スプリント選手権に向け、決して雑な滑りにならないようしっかりと氷を蹴りながら、大会の雰囲気を楽しんでいた。初日は全日本選手権(八戸)からの移動翌日だった

ここで「気持ちは大丈夫でも体は疲れている」「東出俊一監督」と500mへの出場を回避。しかし今季、自らの日本高校記録を更新したばかりの得意の1000mは、相談の末に出場を決めた。「ハード(な日程)になるが、出たなどと思っていなかった。同年代としては楽しい。来場者や関係者が注目する中、全日本選手権で大きく崩れたスケートインングフォームのチェックをしながら、悠々とフィニッシュラインを切った。1分22

秒16は高木にとって決して速いタイムではないが「雰囲気を楽しめて良かった」と終始にこやかだった。全日本スプリント選手権(明治北海道十勝オーバル)で世界スプリント選手権への代表を射止めれば、日程が重なるインタハイの出場はできない。しかし2年後のソチ五輪の星は、シニア世代で切磋琢磨(せつさ)たくま することを選ぶ。「500mは慌てないようになりたい。1000mはすでに(練習)してきているので、自己ベストと上位を狙う」とリフレッシュした滑りを地元で披露するつもりだ。



女子1000mで優勝した高木美帆は表彰式で笑顔を浮かべる

# 初高体連「楽しめた」高木

【女子3000】堅実にラップを刻み2位入賞を果した高橋菜那

